

2020年12月15日

各位

会社名： Chordia Therapeutics 株式会社
代表者名： 代表取締役 三宅 洋
問合せ先： チーフファイナンシャルオフィサー
久米 健太郎
info@chorditherapeutics.com

小野薬品工業とMALT1阻害剤「CTX-177」に関するライセンス契約を締結

Chordia Therapeutics 株式会社（本社：神奈川県藤沢市、代表取締役：三宅洋、以下、当社）と小野薬品工業株式会社（本社：大阪府中央区、代表取締役社長：相良暁、以下、小野薬品）は、本日、当社の MALT1 阻害剤「CTX-177」およびその関連化合物に関するライセンス契約を締結しましたので、お知らせします。

本契約の締結に伴い、当社は、全世界において CTX-177 およびその関連化合物を独占的に開発、製造および商業化する権利を小野薬品に許諾します。当社は、契約一時金および第 I 相試験開始時の開発マイルストンの合計として 33 億円（うち契約一時金は 8 億円）、その後の開発の進捗および売上高に応じたマイルストーンとして最大 496 億円を小野薬品から受領します。また、当社は、CTX-177 の全世界での売上高に応じて、一桁台後半から二桁台前半のロイヤルティを小野薬品より受領します。

当社の代表取締役である三宅洋は、次のように述べています。「オンコロジー領域のリーディングカンパニーであり、独創的かつ革新的な抗がん薬のポートフォリオを有する小野薬品と、MALT1 阻害剤「CTX-177」について提携できたことを大変うれしく思います。当社は、新しい作用機作を有する抗がん薬の研究開発を推進する中で、選択的で強い MALT1 阻害剤 CTX-177 を創薬できたことを誇りに思います。本提携により、CTX-177 がより早く、多様なニーズを抱えるがん患者さんに届くことを期待します。」

CTX-177 について

CTX-177 は、リンパ球系の血液細胞において、その細胞内シグナル伝達に関与することが知られている粘膜関連リンパ組織リンパ腫転座 1（Mucosa-associated lymphoid tissue lymphoma translocation protein 1、以下、MALT1）に対する選択的な阻害剤です。MALT1 の活性化は、リンパ球系の血液細胞のがん化に重要であることが報告されており、CTX-177 は MALT1 の活性を阻害することにより、これらリンパ球系の血液のがんに対する抗腫瘍効果が期待されます。

本 MALT1 阻害薬の研究は、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）の産学連携医療イノベーション創出プログラムのサポートを受けた、武田薬品工業株式会社（以下、武田薬品）、京都大学、宮崎大学との産官学連携の共同研究として開始されました。Chordia は武田薬品よりライセンスを受け、化合物の最適化研究を行い、CTX-177 を創薬しました。その後、AMED の革新的がん医療実用化研究事業のサポートを受け、共同研究に国立がん研究センターも加わり、臨床試験開始に向けて前臨床試験を実施しています。これらの CTX-177 の前臨床試験に関する研究成果は、本年 12 月 5 日から 8 日に開催された第 62 回米国血液腫瘍学会で発表されました（Abstract #141824: Daisuke Morishita et.al. Preclinical Evaluation of a Novel MALT1 Inhibitor CTX-177 for Relapse/Refractory Lymphomas）。

小野薬品工業株式会社について

小野薬品工業株式会社は、日本の大阪市に本社を置き、特定領域における革新的な医薬品の創製に取り組む研究開発型の製薬企業です。当社は、特に医療ニーズの高いがんや免疫疾患、中枢神経疾患およびスペシャリティ領域を創薬の重点研究領域として活動しています。

詳細については、<https://www.ono.co.jp> をご覧ください。

Chordia Therapeutics 株式会社について

Chordia は、2017 年 11 月にがん領域に特化した研究開発型バイオベンチャーとして神奈川県藤沢市の湘南ヘルスイノベーションパークに設立され、新しい作用機作を有する抗がん薬の研究と開発を行い、革新的な新薬を生み出すことを目指しています。リードプログラムとして開発が進んでいる CLK 阻害薬 CTX-712 は、第 1 相臨床試験を実施しています。CTX-712 はがんの持つ脆弱性を標的としており、有効な治療薬になることが期待されています。Chordia は特定の異常を有するがんに効果が期待される複数のパイプラインの研究開発を行っています。

詳細については <https://www.chorditherapeutics.com> をご覧ください。

以上